

理科ルーブリック評価

高校2年生物基礎

3学期

観点	評価段階		A(5点)	B(4点)	C(3点)	D(2点)	E(0点)	備考
	評価項目	詳細						
知識技能 (20)	○classi Webテスト	○恒常性 ○体液とその働き ○体液の調節 ○自律神経系 ○ホルモン ○免疫	各単元や各章ごとに実施する。各テスト100点満点で判定し、その平均をさらに1/5する。再テストを実施した際は、その得点の80%を得点と判定する。					全てのWebテスト・小テストの平均点を使用する。
思考力 判断力 表現力 (15)	○調べ学習 ○発表 ○問題集	○腎臓の構造 ○体温の変化 ○血球による食作用 ○問題集P2～P15	真面目に取り組む、正確に理解し、活用・発表・表現することができた。さらに、独自の工夫があった。	真面目に取り組む、正確に理解し、活用・発表・表現することができた。	理解し、活用・発表・表現することができた。しかし、不十分な内容であった。	活用・発表・表現することができた。しかし、理解不足が見られ不十分な内容であった。	活動しなかった。	全活動の評価の平均の3倍を学期の評価とする。
関心 意欲 態度 (15)	○授業ノート ○自己評価	○授業ノート各単元ごとにロイノートで回収 ○自己評価は期末考査の際にアンケート形式で実施する。	独自の工夫をこらし、十分な状態で提出した。課題の場合は100%の正解を目安とする。	十分な状態で提出した。課題の場合は80%以上の正解を目安とする。	雑ではあるが、提出した。課題の場合は50%程度の正解を目安とする。	雑なうえ、不十分な状態で提出した。課題の場合は40%未満の正解を目安とする。	提出、再提出しなかった。	全提出物の評価の平均の3倍を学期の評価とする。自己評価は、期末考査の際に実施する。3項目分に該当する。

※ 居眠り、忘れ物、授業妨害等の不遜な行為は、1回ごとにその行為の直近の項目の評価を1段階下げることとする。

※ 積極的な発問・解答に対し、優良な発問・解答と認められた場合には、1回ごとにその行為の直近の項目の評価を1段階上げることとする。

※ 提出が遅れた場合は、2度催促する。1度目で提出した場合は、上記の評価が1段落下がる。2度目で提出した場合は、上記の評価が2段落下がる。2度の催促以降の提出は、1点か0点の評価とする。